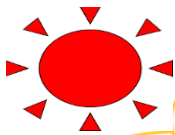


夏の水難防止～



悲しい水の事故を防ぐ

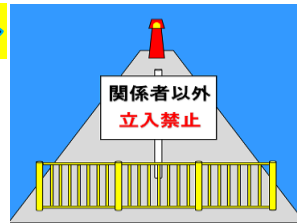


例年、夏期（7～8月）には、川やプール等で水遊びや遊泳する機会が増え、これに伴い水難が多く発生します。楽しい夏の思い出とするためにも、次のことを守り悲しい水の事故を防ぎましょう。



～水辺で遊ぶ時の基本的なルール～

- ① 遊泳禁止場所や危険な場所では遊泳しない。
- ② 保護者は子供から目を離さない。
- ③ 水辺では小さい子供だけでは遊ばせない。
- ④ 増水時は入水しない。
- ⑤ 飲酒して遊泳しない。
- ⑥ 遊泳、ボート遊び等をする際はライフジャケットを着用する。
- ⑦ 水難者に気づいた方は、すぐに警察(110番)、消防(119番)通報をする。



～魚釣りを楽しむ際の基本的なルール～

- ① 増水した河川や沢には近づかない。
- ② 天気予報を確認し、水位の変化に注意する。
- ③ ライフジャケットを着用し、万が一に備える。
- ④ 河川敷や岩場は滑りやすいので注意する。
- ⑤ 渓流釣りで山に入る際は、登山届を提出する。

春日部市には、江戸川、中川、大落古利根川、新方川、薬師沼、大池などがあります。過去には水深2メートル程度の場所でも水難の発生があります。



YouTube動画「川の危険ポイント」「ライフジャケットの着用」

埼玉県警察では、川のレジャーを子供たちに安全に楽しんでもらうことを目的として、日本赤十字社埼玉県支部と協力して水難事故防止啓発動画を作成しました。川などで遊ぶ前に、ご家族で動画を見て安全について学びましょう。

